

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和8年7月31日（金）

2 確認箇所

- ・雨水淡水化処理RO膜装置等（図1）
- ・化学分析棟（図1）

3 確認項目

- （1）雨水淡水化処理RO膜装置等の状況
- （2）化学分析棟増設工事の状況

4 確認結果の概要

（1）雨水淡水化処理RO膜装置等の状況

東京電力では、放射能濃度が基準を上回る雨水をRO膜※で処理する設備のうち、令和2年10月から運用を休止している淡水化処理RO膜装置及びその関連設備（以下「雨水淡水化処理RO膜装置等」という。）について、原子炉冷却用淡水を安定的に供給するための新たな淡水化装置の設置場所を確保するため、解体・撤去を計画している。

今回、雨水淡水化処理RO膜装置等の現況を確認した。（前回確認日：令和8年6月9日）

- ・雨水淡水化処理RO膜装置を構成する淡水化処理RO膜ユニット（4基）、雨水受入タンク（3基、フランジ型）、処理水タンク（2基、フランジ型）のいずれについても、前回確認時から状況に変化はなく、引き続き休止状態にあった。（写真1）
- ・確認した範囲において、雨水淡水化処理RO膜装置及び関係する配管からの漏えい等の異常は認められなかった。（写真2）

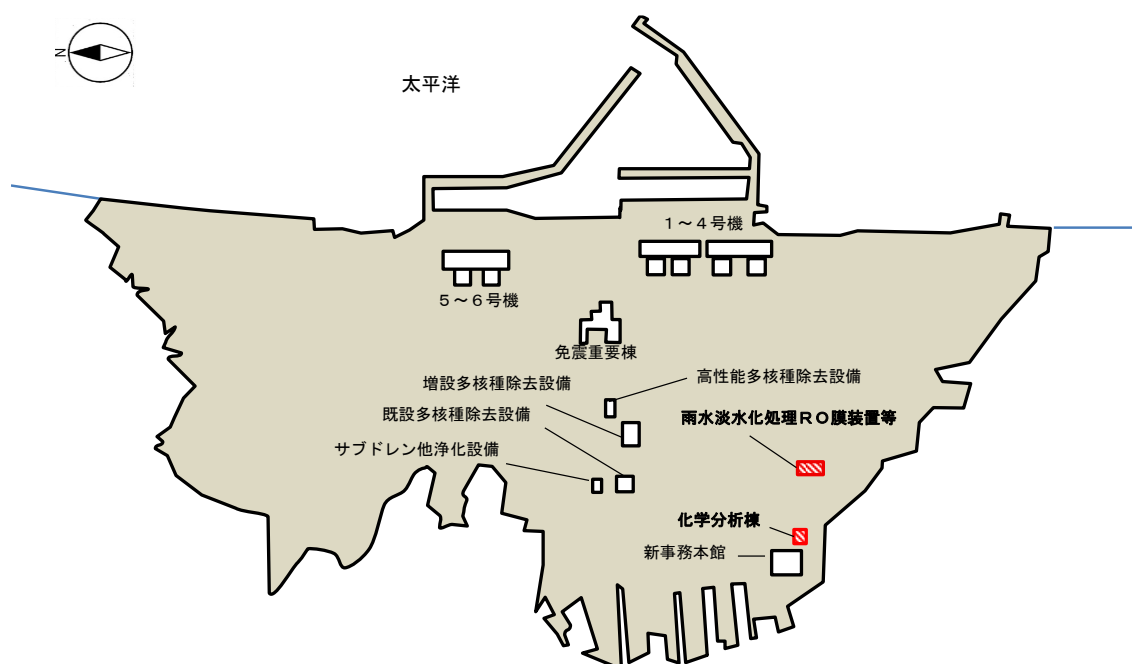
※ RO膜： Reverse Osmosis（リバース・オスモシス、逆浸透）膜の略。水を通し、イオンや塩類などの不純物を取り除くためのろ過膜。雨水に含まれる放射性物質等の除去に使用する。

（2）化学分析棟増設工事の状況

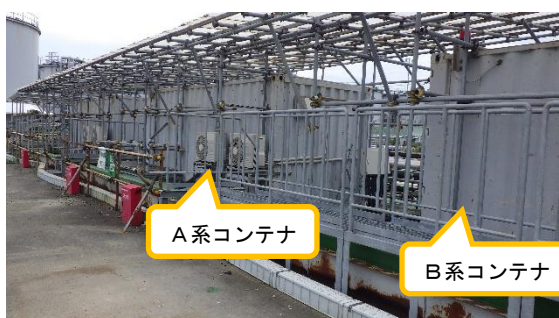
東京電力は、福島第一原子力発電所構内に2つの分析施設を有している。1つは中・高濃度の試料を取り扱う5・6号機化学分析室であり、もう1つは低濃度の試料を取り扱う化学分析棟である。

東京電力では、分析能力の向上を目的として、既存の化学分析棟の東側に分析の前処理を行うための施設を増設していることから、工事の進捗状況を確認した。（前回確認：令和8年3月17日）

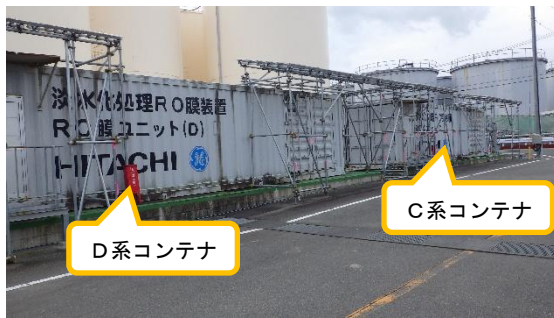
- ・ 化学分析棟の増設部分について、建屋の建設が完了していた。（写真 3）
- ・ 増設部分の建屋内を確認したところ、給排気ダクト、電気、水道等のユーティリティ設備の設置は完了していたが、分析機器は未だ設置されていなかった。（写真 4）
- ・ 東京電力によると、現在、空調設備を稼働させた状態で、増設部分内部における湿度等の環境測定を実施しているとのことであった。



（図 1）福島第一原子力発電所構内概略図



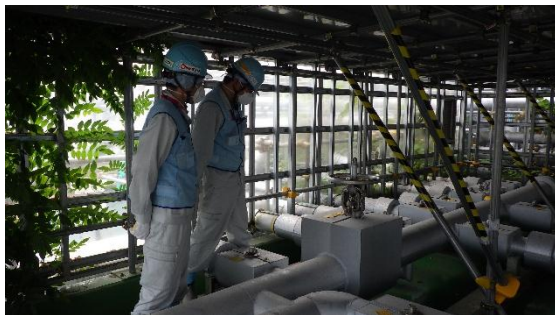
（写真 1－1）
雨水淡水化处理RO膜装置（RO膜
ユニット（A系、B系））



(写真 1－2)
雨水淡水化処理RO膜装置（RO膜
ユニット（C系、D系））



(写真 1－3)
雨水受入タンク及び処理水タンク



(写真 2)
雨水淡水化処理RO膜装置等に関係
する配管の確認状況



(写真 3－1)
化学分析棟増設部分①



(写真 3－2)
化学分析棟増設部分②



(写真 4－1)
化学分析棟増設部分建屋内の状況①



(写真 4－2)
化学分析棟増設部分建屋内の状況②

5 プラント関連パラメータ等確認

確認したデータについて、異常値は確認されなかった。